

# ここが聞きたい！ 一問一答

個人質問  
14人



6月定例会  
で行われた  
一般質問の様子を  
お伝えします

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、市民の皆さまの声や自身の考え方をもとに、市長や教育長などに方針や課題、成果を問うものです。

## 質問ルール

代表質問  
質問時間

20分+  
会派人数  
×5分

個人質問  
質問時間

1人  
30分以内

質問回数

回数制限  
無し

次回は  
9月  
定例会

## おねがい

ここでは、紙面の都合上要約して掲載しています。  
質問の様子はHPでも公開していますが、  
ぜひ傍聴にお越しください。

※HPには定例会から約1月後に公開します。

### 次回質問日(予定)

9月	2日(日)	代表
	5日(水)	個人
	6日(木)	個人
	7日(金)	個人

9時30分から!

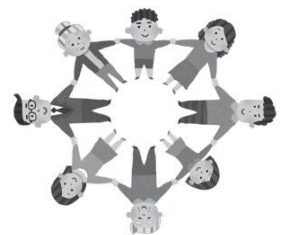
※代表質問は3・9月定例会で行われます



## 笠岡市の「協働」は、 どのような目的でできたのか



くらもとたかふみ  
藏本隆文議員



議員 政府は2040年には社会保障給付費が190兆円となる推計を公表し、財源確保のため公費保険料とも30兆円増やす必要があるとした。これを削減するには、地方自治体がきめ細かい施策展開をし、実施しなければならぬが、市民との十分な相互理解は欠かせない。

総合計画の基本理念の一点目、「協働と共生による市民主役の笠岡づくり」はどのように実施していくのか。また、まちづくり協議会の今後の運営方針をたずねる。

市長 市民と行政が対等な立場でともに手を取り、目指すべきビジョンを共有し、力と知恵を合わせながら活動していくことと、すべての人が尊厳をもってお互いを認め合いながら共に暮らせる環境の

中で支え合い暮らししていく多様な姿により、市民がまちづくりの主体となり、ともに手を携えて魅力ある笠岡づくりを進めていく。まちづくり協議会は、課題解決型へと進化し、地域経営にかかわる政策の形成、決定、実行に自ら進んでかかる自治体型まちづくりへの展開を期待している。

議員 市民と施策を進めるために協議会の仕組みができた。例えば健康施策は、市民がえらい思いをしても本人が健康で幸せになる上、次世代負担も減っていく。市長が住民に「ちよつと大変だけど、健康づくりを続けてくれ。」とお願いしなくてはならないのでは。

市長 まったくその通りだと思う。その方向で進めたい。